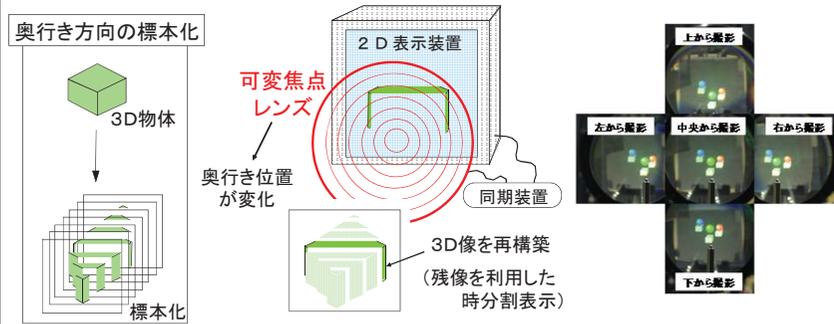


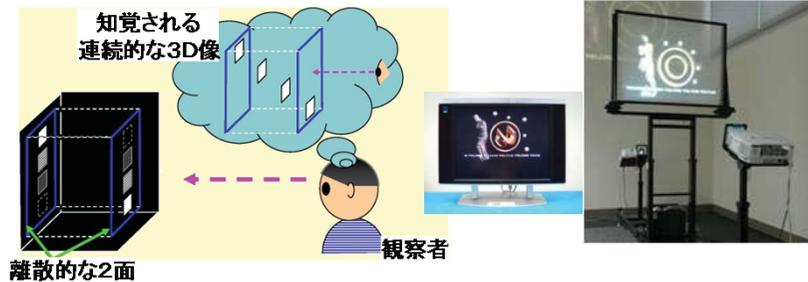
人に優しい3D表示システム

【キーワード: 空中3D像, 立体知覚】 教授 陶山 史朗

【可変焦点レンズ型3D表示システム】 空中に3D像を結像

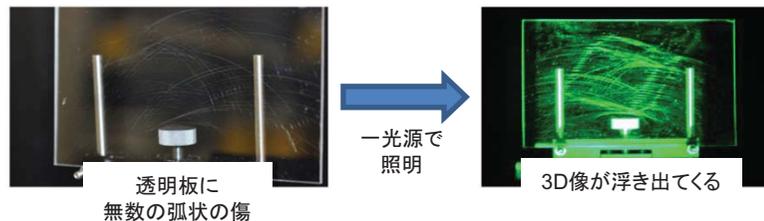


【DFD (Depth-fused 3D) 表示システム】 離散的な奥行きを連続的に知覚



【アーク3D表示システム】

単純な弧状散乱体で、滑らかな運動視差を表現



内容:

「人に優しい」をキーワードに、液晶デバイスの製作から、3D表示システムの構築までを研究開発している。

【可変焦点レンズ型3D表示システム】

焦点距離を自由に変えられる、液晶を用いたキーデバイスとして可変焦点レンズを開発し、これを利用して、空中に3D像を結像できる3D表示システムを研究開発している。実際に、3D像を結像するため、立体視の要因を満足でき、疲労感の少ない3D像が期待できる。

【DFD (Depth-fused 3D) 表示システム】

離散的な奥行きを持つ表示面により、連続的な奥行きを表現できることを発見し、これを利用して簡便に3D像を表現できるシステム(9~200インチ)を研究開発している。小さな運動視差を表現でき、疲労感が少なくかつ両眼に視力差がある方でも見やすい3D像が期待できる。

【アーク3D表示システム】

単純な多数の弧状散乱体の集まりにより、滑らかな運動視差を自然に表現できる3D像を表現できるシステムを研究開発中である。

分野: 表示技術

専門: 3D表示システム, 液晶デバイス, 立体知覚現象

E-mail: suyama.shiro@opt.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-9425

Fax: 088-656-9435

